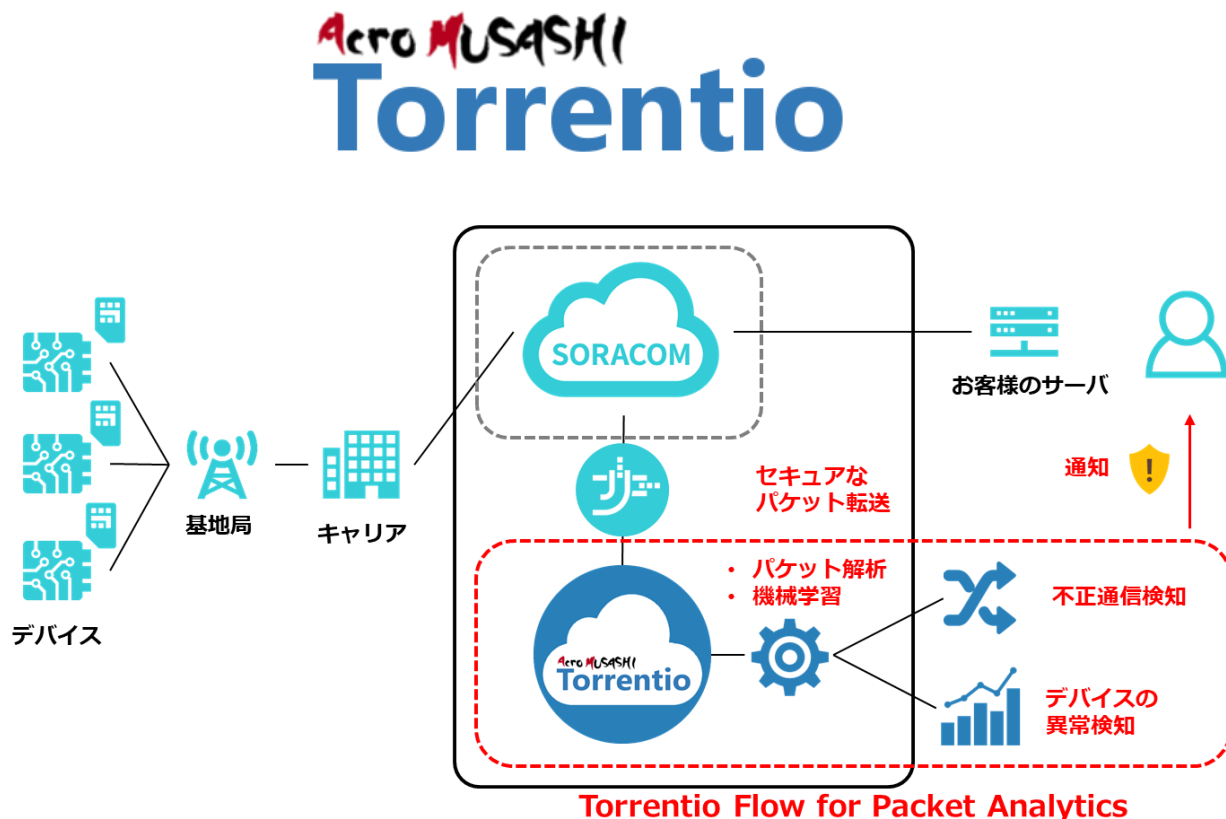


SORACOM と連携する、IoT デバイス向け時系列異常検知ソリューション

「Torrentio Flow」のサービス提供を開始

～機械学習を用いた通信パケットの分析によるリアルタイム異常検知～



社会プラットフォームイノベーション事業を展開するアクロクエストテクノロジー株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：新免流、以下「アクロクエスト」）は、株式会社ソラコムが提供する IoT 通信プラットフォーム「SORACOM」と連携した、IoT デバイス向けの時系列異常検知サービスとなる「Torrentio Flow」の登録受付を開始したことをお知らせします。

「Torrentio Flow」（以下、トレンティオ・フロー）は、「SORACOM Junction^{※1}」と連携し、IoT デバイスの動作不良や不正通信などの異常をリアルタイムで検知するクラウドサービスです。データ通信 SIM「SORACOM Air for セルラー」をご利用中のお客様は、本サービスを併せてご利用いただくことで、デバイス障害や通信異常の検知、セキュリティ脅威などへの対策が簡単に実現可能です。その際に追加のハードウェアやソフトウェアの導入は必要ありません。

IoT システムでは、様々なデバイス、データが利用されます。トレンティオ・フローは IoT 通信の時系列データを意識した異常検知の機械学習を導入しており、外れ値や周期異常など、複数種類の異常状態を自動識別し、問題を検出することができます。

「トレンティオ・フロー」をご利用いただくことで、以下のような課題を解決できます。

- ・ IoT デバイスからの通信がいつの間にか不安定になり、データ取得が正常にできなくなってしまう（デバイス故障、ネットワーク異常の可能性）
- ・ 複数の IoT デバイスの中で、特異な好ましくないデータ通信や挙動をしている機器がある（設定ミス、エッジ処理での問題の可能性）
- ・ IoT デバイスがマルウェアなどに感染し、想定しない宛先への通信の発生や急激なパケット量増加がみられる（デバイス乗っ取り、DDoS 攻撃踏み台の可能性）

IoT デバイスは、遠隔地で長期に渡って運用したり、多くの機器を扱ったりするために、問題の発見が遅れるケースが多くあります。また近年は、IoT デバイスが乗っ取られ、サイバー攻撃の踏み台にされてしまうようなセキュリティ事象も増えており、IoT サービスの普及の一方、そのリスクもより高まっています。そのような問題に個別に対応することは、技術的にもコスト的にも困難です。

「トレンティオ・フロー」は、SIM 単位で通信トラフィックやプロトコルの分析を行うため、リスクがある状況や改善すべき対象をピンポイントで特定でき、迅速な問題解決が可能になります。また、通信パケット自体を解析するため、デバイスへの設定なども不要で、効率的に導入・運用できます。さらに、機械学習のエンジンでは、Elastic の Machine Learning^{※2} 機能を利用して、異常検知をしております。

従来では、上記のような対策を行うために、専用のハードウェアやソフトウェアを導入する必要がありましたが、SORACOM Air SIM と本サービスを利用することで、従来のデバイスや環境を変えずにそのまま対応することが可能です。

「トレンティオ・フロー」は、IoT システムがセキュアに保たれるよう、継続的にサービスを開発し、その機能を拡充していきます。アーククエストは、データを活用することにより新しい価値を生み出し、安心安全な IoT 業界となるよう貢献していきます。

※1 SORACOM Junction : IoT デバイス機器がやり取りするパケットに対して様々な処理を適用できる SORACOM のサービス

※2 [Elastic Machine Learning](#) : Elastic X-Pack に含まれる時系列異常検知の機能

【「Torrentio Flow」の概要】

1. 名称

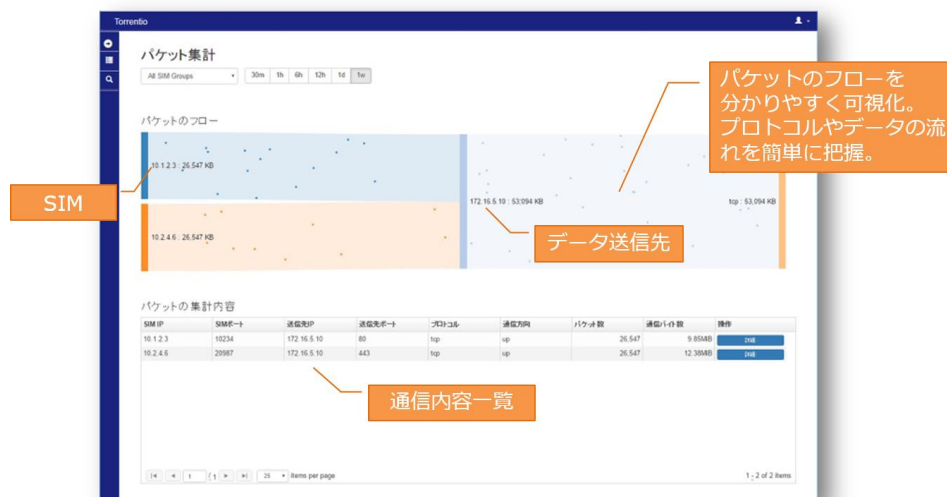
IoT デバイス向け時系列異常検知ソリューション
Torrentio Flow (トレンティオ・フロー)

2. 特長

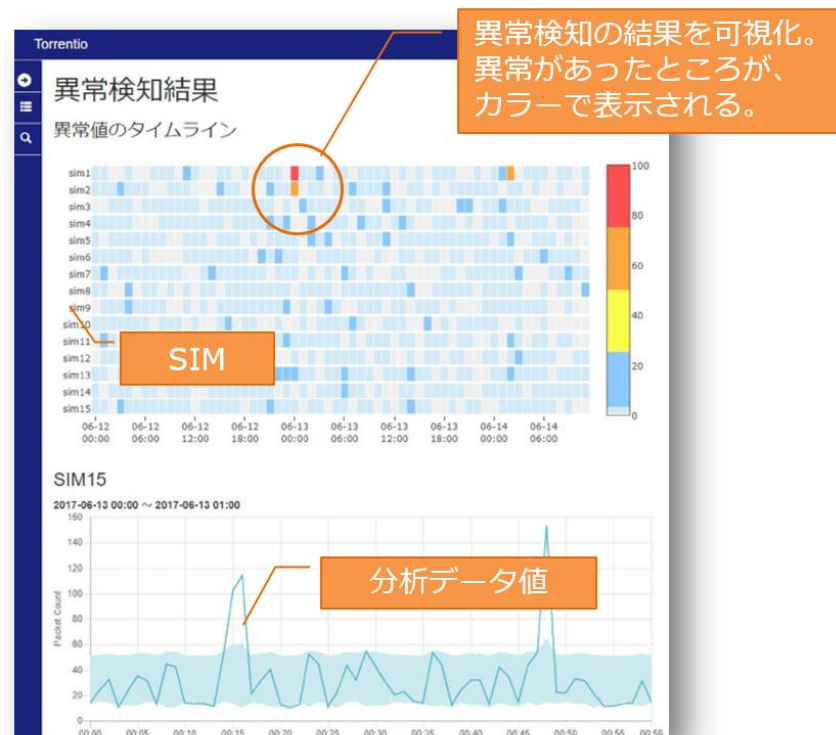
- ① 特別なデバイスやハードウェア不要で、SORACOM Air SIM を利用するだけで、どの IoT デバイスに対しても導入可能です。
- ② 複雑な設定やモデル構築などの作業は不要で、自動で正常時の動作パターンを分析することで、「いつもと違う」異常状態を簡単に検知できます。
- ③ SIM ごとに詳細な分析が可能で、問題のあるデバイスをすぐに特定でき、問題の検知から解決まで、迅速に対応することができます。

3. 主な機能

- ① SIM ごとの通信状況の可視化



② 機械学習による異常検知



4. 適用

- ・ 現在はプライベートベータ版として、申し込みを頂いたお客様から順次サービスをご提供させていただきます。申し込みからサービス利用開始までは、1週間程度を予定しております。
- ・ 本サービスのご利用には、「SORACOM Junction」のご契約が別途必要になります。なお、現状は、SORACOMの「日本向け Air SIM」のみに対応しています。今後、「グローバル向け Air SIM」などに順次対応していく予定です。

その他の詳細情報は、以下のページをご確認ください。

ウェブサイト：<http://www.site.torrentio.tech/torrentio/torrentio-flow/>

ログインページ：<https://flow.torrentio.tech>

【株式会社ソラコムと連携にあたり、エンドースメントのご紹介】

この度のアクロクエストテクノロジー様の「Torrentio Flow」の「IoT 通信プラットフォーム「SORACOM」との連携強化を心より歓迎します。

「SORACOM」は、IoT/M2M システムに最適な無線通信を、セキュアかつリーズナブルに提供しています。

この度の IoT デバイス向け時系列異常検知ソリューション「Torrentio Flow」との連携により、高度な専門知識を要する機械学習を用いた通信トラフィックの分析と異常検知を取り入れた IoT システムを迅速に導入・ご利用いただくことが可能になります。

「Torrentio Flow」と「SORACOM」の組み合わせが、より高度な IoT システムを必要とするお客様に、新たな解決策を提供してくれること期待しています。

株式会社ソラコム 代表取締役社長 玉川 憲


【アクロクエストについて】

「テクノロジストチームとして、ビジネスの革新的価値創出に挑戦する」をビジョンとするソフトウェア企業です。以下の事業を展開しております。


- IoT プラットフォーム「Torrentio」
- 競争上の優位性を築く、IT ビジネスソリューション「ENdoSnipe」

2012 年にミャンマーに支社を開設し、現地技術教育機関への教育支援活動を行っております。


また、「社員の幸せを追求する」経営方針とその成果が評価され、2015 年以降、次のような賞をいただきました。

 Great Place to Work(R) Institute Japan 実施
2015 年、2016 年 働きがいのある会社ランキング 2 年連続第 1 位



 Great Place to Work(R) Institute Japan 実施
「2017 年版働きがいのある会社」ランキング第 2 位



 人を大切にする経営学会（代表：法政大学坂本光司教授）主催
第 5 回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞審査委員会特別賞



【会社概要】

会社名：アクロクエストテクノロジー株式会社

代表者：代表取締役 新免流

所在地：神奈川県横浜市港北区新横浜 3-17-2 友泉新横浜ビル 5 階

事業内容：パッケージ開発・販売事業、コンサルティング事業、システム開発事業、ミャンマーマーケティングサービス、職場改善コンサルティング

URL：<http://www.acroquest.co.jp/>

以上

本件に関するお問い合わせ

■アクロクエストテクノロジー株式会社 広報担当／白井智子（しろいさとこ）

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-17-2 友泉新横浜ビル 5 階

TEL(広報)：045-330-9937

TEL(営業)：045-476-3171

FAX：045-476-4171

E-MAIL(広報)：acropr@acroquest.co.jp

E-MAIL(営業)：acrosales@acroquest.co.jp